

●国際スポーツ大会を契機としたスポーツ振興・地域活性化の取組み [幹事県 福岡県]

1 ラグビーワールドカップ成功に向けた九州一体による取組

- (1) ラグビーワールドカップ2019九州開催3県知事・市長会議（平成29年5月）
ラグビーワールドカップ2019九州開催の成功を目指して、開催3県知事・市長が九州開催地宣言を採択。
- (2) ラグビー試合会場での合同PRブースの出展
（福岡10回、佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島・山口・広島各1回）
- (3) PRツールの共同制作（パンフレット、手提げ袋）
- (4) 九州開催都市担当者会議の開催
【第1回】平成29年8月25日（金） 開催地：大分県
【第2回】平成29年11月16日（木）～17日（金） 開催地：福岡県
【第3回】平成30年1月24日（水） 開催地：熊本県
◇主な内容 ①海外プロモーションについて
②九州全体の気運醸成及び集客方策について

2 九州一体となったアスリート育成・キャンプ地誘致の取組

- (1) 九州タレント発掘・育成コンソーシアム事業の実施
◇「ワールドクラス・パスウェイ・ネットワーク（※）」アスリート・指導者研修受講
・ Aカテゴリー：山口県、福岡県、大分県、宮崎県 Bカテゴリー：佐賀県
※ 独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）が平成27年4月に設置した地域タレント発掘・育成事業や競技団体などとの連携・協働のプラットフォーム
※ Aカテゴリーは、地域タレント発掘・育成事業実施団体、Bカテゴリーは、当該事業を企画、実施しようとしている団体。
◇中央競技団体との協働によるアスリートの発掘・育成プログラムの実施
・ カヌー競技九州ブロック成績上位者（中・高校生）を対象とし、ドイツにて海外合宿の実施
・ アーチェリー競技九州ブロック成績上位者（中・高校生）を対象とし、中央競技団体からコーチを招聘した合宿の実施
・ フェンシング競技・ピストル競技・ラグビー競技の小・中学生を対象とした発掘事業（九州ブロックゲームズ）の実施
- (2) 九州一体となったキャンプ地誘致活動の実施
◇オランダ・ドイツ・スペイン
視察受入 平成27年7月（佐賀県、福岡県、大分県、長崎県）
◇ノルウェー
視察受入 平成28年3月（福岡県、佐賀県、熊本県）
平成29年8月（福岡県）
締結式 平成28年10月（福岡県、熊本県、福岡市、菊池市）

◇フィンランド

視察受入 平成29年6月（福岡県、佐賀県）

●国際スポーツ大会を契機としたスポーツ振興・地域活性化の取組み [幹事県 福岡県]

3 国際スポーツ大会を契機とする観光・物産の九州一体での魅力発信／外国人観光客受け入れ環境の九州一体での整備／九州一体となった文化プログラムに基づくイベント開催

(1) 九州地域戦略会議第二期九州観光戦略委員会

◇「第二期九州観光戦略 第二次アクションプラン」 平成28年10月策定

- ・ RWC2019、オリパラ2020などの世界的なイベントが日本・九州で相次いで開催されることを契機と捉え、国別・地域別ニーズに対応した戦略的なプロモーションなどを行っていく。

(2) 九州・沖縄文化力推進会議

- ・ ラグビーワールドカップ・女子ハンドボール世界選手権大会（2019年）や東京オリンピック・パラリンピック（2020年）など国際的スポーツイベントの開催を契機として、九州・沖縄・山口の各種文化の啓発を図り、国内外に向けて文化力を発信。

◇フォーラムの実施

- ・ 九州各地において関連フォーラムを開催し、地域文化を国内外に向けて発信する。
佐賀県（H29.10・11月）、沖縄県（H30.1月）で開催予定